

紫波ネット

SHIWA NET

発行 / 岩手県紫波町 編集 / 企画課

産直発・旬を味わおう 春の息吹を香りで感じるウド雑炊

ウドが産直センターあかさわに並び始めました。これから六月ともなれば山ウドも出始めます。今号から始まった「産直発・旬を味わおう」は、産直で見つけた素材を使ったひと味違う料理コーナー。今回は春の朝にふさわしいウドの雑炊をご紹介します。

目次 CONTENTS

今号のトピック

平成11年度を迎えて

町長所信表明……………2

一般会計予算のあらまし……………5

我がサークル、ただいま奮闘中！……………13

情報掲示板……………15

一番身近なりサイクル&エコロジー……………23

ポイントは鳥の胸肉に焼き目を入れること。そして材料を米粒の大きさに合わせるように、すべてみじん切りにすることです。

- ①鶏肉を魚焼きやオーブンで焼きます。特に重要なのが皮。こんがり焼いて余分な脂を落とすとともに、香ばしくします。また焼いた方がみじん切りも簡単です。
- ②焼いた鶏肉、ニンジン、皮をむいたウドをみじん切りにします。水を入れた鍋を火にかけ、鶏肉とニンジンを入れ、お酒を加えます。ウドは水にさらしてあく抜きをします。
- ③3分ぐらい煮たらウドを加え、さらに3分ほど煮てご飯を加えます。この時の水加減は、ご飯がたっぷり水に浸るぐらいに。

時間が経つとご飯は水分を含みふくらめてきます。

- ④塩で最初に味をととのえ、しょうゆは風味を加える程度に味付けします。しょうゆをベースにすると、ウドの風味が消えてしまいますのでサッパリめの味付けに。
- ⑤味付けが終わったら、卵を溶いて回すように入れて下さい。後はネギを散らし火を止め、軽く蒸らして食卓へ。春キャベツの浅漬けでもあれば、春にしか味わえない朝のごちそうができます。

材料（2人前）

- ・ウド……………1/2本
- ・ご飯……………1合
- ・鶏の胸肉……………1/2切れ
- ・ニンジン……………1/2本
- ・葉ネギ……………4本
- ・卵……………1個
- ・酒……………大さじ3
- ・塩、しょうゆ、酒………適宜

【皆さんからのご意見・情報をお待ちしています】情報は原則としてファックスが郵送でお願いします。
〒028-3390 岩手県紫波郡紫波町日詰字西裏23-1 ファックス / 672-2311 紫波町役場「紫波ネット」情報係まで
【紫波町ホームページアドレス】<http://www.town.shiwa.iwate.jp>

予算など平成11年度の町の方向を定める町議会3月定例会が、3月4日から23日までの会期で開かれました。議会初日には藤原町長が所信を表明し、町政運営の考え方や主な施策について述べました。ここではその要旨と平成11年度予算のあらましをお伝えします。

交流プラザ 紫波

平成11年度
所信表明と
予算のあらまし

住民ニーズに対応し 活力ある町づくりを！

各種施設の連動により交流人口の増加を目指します
(写真：6月3日オープンのクアパークラ・フランス研修産業館・湯楽々)

町長所信表明演述要旨

改革を推進しつつ重点的に施策展開

町議会から平成10年度予算に対する意見書をいただいていたが、その実現に向けて平成11年度の予算編成を行いました。予算額は百十八億三千三百七十九万六千円。前年度より一・八ポイントの減少となっています。

硬直化する財政状況に歯止めをかけ、より柔軟な町政を目指すことを念頭に置き、思い切った補助金や負担金の見直しを行いました。廃止したものは二十八件で、千五百七十三万七千円。減額したものは四十九件で六百万五千円となっています。

また職員体制についても、従前の意識にとらわれることなく、新しい感覚の下で行政に当たるよう指導しているところです。

行政改革を一層推進しサービスの向上を

本格的な高齢化・少子化社会の到来、情報化・国際化の一層の進展、生活の質や環境に対する関心の高まりなど、社会や経済の変化に柔軟かつ弾力的に対応していくことが強く求められています。

町では新しい行政課題や社会情勢の変化に的確に対応していくため、「紫波町行政改革大綱」に基づく「事務事業の見直し」「時代に即応した組織機構の見直し」



所信表明する藤原町長

し」などの視点に立ち、積極的に行政改革に取り組んできました。

今後、町民の多様なニーズに対応しながら、情報化のさらなる推進による行政サービスの向上を目指し、活力ある地域社会を築いていくため、なお一層行政改革を推し進めていく必要があると考えています。

町の資源を生かし活力ある町づくり

三月九日のフルーツパーク交流館とレストラン果里ん亭のオープンを皮切りに、六月三日には研修産業館・湯楽々、九月には勤労者総合スポーツセンター

今号のトピックス



転作作物の増収を図るため排水対策に取り組みます（写真は、3月に行われた社団法人岩手県農地管理開発公社によるモミガラ暗きよの実証）



好評を博した昨年の「平太くんのなんでもバザール」は、内容を充実させ今年も開催

と、平成十一年には三つの施設がオープンします。

これらを野村胡堂・あらえびす記念館やラ・フランス温泉館、もち米生産日本一の売り込み、七力所の産直センター、特産物（果樹、畜産、日本酒）など、現在ある資源とどのように連動し組み合わせ、活力ある町づくりを進めていくかという点が課題です。

フルーツパーク事業 今年度は体験農園の整備が始まります。ふれあい型・体験型農業を推進し、農業に対する理解の高揚を図ることを目的に事業を進めていきます。

町の農業全般の発展に対し指導的な立場を果たすこの施設は、地域の農産物に対するイメージの向上、観光型農業の推進、都市と農村との交流による町のイメ

ージ向上を目指すものです。またフルーツパークゾーンの隣接地に県営施設を誘致することを前提に、整備を図っていきます。

各種の施設を連動することにより、現在百万人ほどの町の交流人口が、将来的には二百万人となるよう目指して、元気で活力ある紫波町にします。

豊かなある産業の発展を目指して

農業の振興

平成十一年度米の生産調整目標面積は、昨年度同様の千三百五十三ヘクタールで、全水田面積に対し三三三の比率です。政府に対し、この比率の低下を要請しています。ミニマムアクセス米についても国産米に影響がないよう強く要望していきます。

またできるだけ農家の不公平感をなくすよう、農協が中心になって独自の転作互助制度に取り組んでいます。有利な転作のためには、いかに有利な作目を導入できるかが重要であるため、花やナンブコムギ、ソバ、野菜の作付けを進めます。

転作作物の増収を図るためには、転作水田の畑地化、とりわけ排水対策が今後の課題であると思われます。試験ほ場を設置し、今後に向けていきます。

果樹の振興 フルーツパーク構想によるイメージの向上に加え、品種更新や改植を進めます。また昨年の霜害を教訓とし、天災に強い栽培管理、霜害警報装置の充実、さらには生産物を原料とした特産品の開発に取り組めます。

畜産の振興 優秀な紫波牛の育成と肉質向上、豚については、特産化と加工品の販売に重点を置き、販路拡大に務めます。

また新たに、転作水田で飼料用米の栽培を試験的に行います。ポストハーベスト漬けや遺伝子組み換えのえさではなく、国内産の安全なえさで飼育することで、安心して食べられる肉の生産と、食味で差別化できるのではないかと考えます。

農業後継者対策 新たに農業を希望される方に、できるだけ多くの支援をしていきたいと思えます。

後継者の配偶者対策ですが、都市と農村が交流する機会をつくり、農業全般を魅力あるものにする必要があります。そのため、ふれあい型・体験型農業を推進するとともに、農村公園整備や集落排水事業整備などによって農村社会の環境を変え、農業に対する理解を得ながら配偶者の確保に努めていきます。

商工業の発展

商店街の活性化 町の関係する施設や観光資源を生かして有機的に連動させ、商店街の活性化に取り組めます。特に昨年実施した「平太くんのなんでもバザール」は、回を重ねるごとに手ごたえを感じてきたと地元商店会の皆さんの評価をいただいているところです。

今年度は昨年の反省に立ち、地域ぐるみで取り組むべき点を強調しながら実施していきます。

イベントの再検討 町で実施している祭りの事業については、若い方々の意見と発想を取り入れるべく事業の見直しを行っています。現在ワーキンググループで

検討しています。

工業振興 引き続き厳しい現況ですが、企業誘致には努めていきます。地元高校卒業生の地元への就職希望が多いので、各企業にお願いしています。また優秀な人材ができるだけ当町に残ることができると実施が必要であると考えており、いろいろとお願いしているところです。

企業の方々には、九月に完成する勤労者総合スポーツセンターの利用をお願いしています。また各企業の環境＊アイソ ISO取得に向け、下水道の早期供用開始への要望を受けているところです。

これまで以上に豊かさの実感できる町づくりに努めていきます。

支え合う福祉の充実に 向け各種施策を展開！

少子化対策 保育所における一時預かりや時間延長保育に対応しながら、障害児童預かり制度の充実に努めたところです。

施設については、古館保育所の定員を六十人から百二十人にすべく改築を予定しており、人口密集地の保育の充実を図ります。施設改善に力を入れ、若いお母さんが安心して保育を任せられる施設づくりに努めていきます。

少子化社会での課題である子育てについては、夫婦や家庭だけの問題とせず、社会全体で支援する気運を高めることと、子育てをしながら安心して働けるための休業制度や復職しやすい雇用環境の整備、低年齢保育や時間延長保育などを充実させることを重視し、対応していきます。

高齢者福祉 平成十二年四月からスタートする介護保険制度に向けて人員を重点的に配置し、ソフト面での整備に努めています。できるだけ町民のニーズに沿った介護保険制度とするために、町単独の認定作業を予定しており、介護保険から漏れた方々にどう対応していくか現在検討しています。

また二十四時間ヘルプサービスや、サテライトデイサービスの充実に加え、平成十二年四月開業を目指して、＊民間の特別養護老人ホームの設置が計画されています。この特養ホームは、ショートステイ十四床、特養五十床で、介護支援センターの併設により、高齢者福祉がより充実していくものと思われま。

福祉協議会事業 現在「＊ふれあいのまちづくり事業」を希望しており、これが採択されますと新たな事業を進めていきます。

環境を重視した社 会の構築に向けて

二十世紀は環境を破壊しながら経済発展を重視した世紀でしたが、来るべき二十一世紀は、環境を大切に守り、安全な食料を確保する世紀といわれています。

町でも残されている自然と緑を後世に引き継ぐため、環境保全には十分配慮していきます。四月一日からごみのポイ捨て禁止条例が施行され、町民の環境美化への意識が高まってきています。町では現在、環境＊ISO14001 ISO14001の認証取得に向けて検討を始めているところです。
資源循環型社会の形成 ごみの焼却によ

るダイオキシンの発生は、大きな社会問題です。限られた資源をリサイクルして資源を土に戻し、安全な食料を確保するシステムが必要であり、次期発展計画に向けて検討に入るところです。

下水道の整備 農業集落排水事業は現在、長岡南部地区の工事が進行中です。今後は、片寄南地区の事業推進に努めていきます。公共下水道については、順次供用開始区域の拡大に努めていきます。

教育の振興 未来の町を 担う子どもたちのために

紫波高校の振興 県教育委員会に特色ある学科の新設を要望しています。民間の方々にも後援をいただきながら新設に向けて運動していきます。

施設整備 紫波第二中学校屋内体育館の改築、赤石小学校プール用地の遺跡調査など、整備に力を入れ、二十一世紀に活躍が期待できる人材の育成に向け、努力していきます。



サテライトデイサービス（写真）をはじめ高齢者福祉の充実を図ります

用語解説

＊ISO 工業製品の規格や品質の統一・標準化のための国際機関「国際標準化機構（ISO）」が定める国際規格には、品質管理・保証に関する「9000シリーズ」、環境を守るための「14000シリーズ」などがある。「ISO14001」には、環境管理を改善し続けるために必要な組織体制や業務のルールが盛り込まれている。

＊民間の特養ホーム 社会福祉法人「紫波大樹会（城戸武夫理事長）」が設置運営するもので、町内で2番目の特別養護老人ホームとなる。設置場所は志和の土館地区で、来年4月にオープンする予定。名前は「百寿の里」。

＊ふれあいのまちづくり事業 国の補助事業で、採択されると福祉に関する各種の事業（心配ごと相談やいこいの家、移送サービス、福祉施設でのボランティア養成など）を充実できるようになる。期間は5年。町社会福祉協議会では、今年2月に事業要望を出している。

緑豊かな環境を次の世代に伝えるための施策を展開します



一般会計予算のあらまし

すみよい町づくりに118億円

町の平成十一年度予算が、町議会三月定例会会で可決されました。一般会計の総額は百十八億三千三百八十万円で、昨年より一・八割、二億二千七百九十万円の減少となりました。また六つの特別会計の合計は九十億四千二百七十万円。厳しい財政状況の中、限られた財源を有効に活用し、よりよい町づくりに取り組めます。ここでは、一般会計のあらましを中心にお知らせします。

歳入 依存財源が微増

町に入ってくるお金を歳入といいますが、内訳を下の表に示してあります。

このうち、最も大きな割合を占めるのは、財力に応じて国から交付される地方交付税で、四十三億九千八百万円。これは全体の三七・二割を占めます。次いで、皆さんに納めていただく町税（二〇・八割）、事業に対する国からの補助・国庫支出金（八・二割）と続きます。

町税と地方交付税は、前年より若干の増加を見込んでいます。また国庫支出金は、古館保育所の増築、朝日ヶ丘北住宅や紫波二中屋内運動場の建設などを国の補助事業で行うため、七三・一割の伸びを示しています。

一方、県支出金や繰入金（積み立てた基金を取り崩したお金など）、町の借金にあたる町債はそれぞれ前年より三〇割以上も減少しました。

歳入は、その性質により自主財源と依

歳入の内訳

項目	予算額(千円)	比率(%)
町税	2,819,856	23.8
繰入金	490,117	4.1
諸収入	363,049	3.1
分担金及び負担金	251,588	2.1
使用料及び手数料	114,336	1.0
繰越金	100,000	0.8
寄附金	41,005	0.3
財産収入	25,984	0.2
地方交付税	4,398,000	37.2
国庫支出金	967,620	8.2
町債	918,800	7.8
県支出金	693,767	5.9
地方譲与税	263,000	2.2
地方消費税交付金	183,496	1.6
自動車取得税交付金	85,500	0.7
地方特例交付金	79,227	0.7
利子割交付金	16,416	0.1
ゴルフ場利用税交付金	14,239	0.1
交通安全対策特別交付金	7,200	0.1
特別地方消費税交付金	596	0.0
歳入合計	11,833,796	100.0

は自主財源

歳出の内訳

(目的別)

項目	予算額(千円)	比率(%)
土木費	2,163,568	18.3
民生費	2,021,793	17.1
公債費	1,708,554	14.4
教育費	1,467,149	12.4
農林水産業費	1,341,454	11.3
総務費	1,082,562	9.2
衛生費	786,079	6.7
消防費	462,534	3.9
商工費	344,962	2.9
労働費	287,265	2.4
議会費	159,554	1.4
予備費	5,000	0.0
災害復旧費	3,319	0.0
諸支出金	3	0.0
合計	11,833,796	100.0

源の増減がほぼ均衡しているのに対し、自主財源で繰入金を低く抑えたことによるものです。

歳出 トップは土木費

歳出のトップは、全体の一八・三割を占める土木費で、二十一億六千三百五十七万円。昨年を四六・二割上回っています。これは改良対象の道路や街路が、昨年の六路線から十二路線に増えたことによりです。

次いで、民生費（老人福祉や保育所の運営などに使われるお金）で一七・一割、公債費（町が借りたお金の返済金）一四・四割と続きます。

大きな伸びを示したのは、労働費、土木費、民生費、教育費など。前年より七五・二割も増加した労働費では、日詰西地区に勤労者総合スポーツ施設を建設し

ます。民生費の伸び（一七・八割増）は、古館保育所の増築や介護保険制度の準備などによるもの。また教育費は、紫波二中の屋内運動場の建設や、八月に開かれるインターハイへの補助などによって一・二割増加しました。

一方、前年より大きく減少したのは、災害復旧費（前年比八六割の減）や商工費、農林水産業費など。災害復旧費の減は、片寄地区の山林火災被災地の被害木整理事業が完了したことによるものです。商工費は、引き続き研修産業館の整備を行うものの、温泉保養公園の整備が一段落したことから七〇・二割減少しています。

前年度、カントリーエレベーター建設への補助を行った農林水産業費は、二五・一割減少していますが、フルーツパーク関連の事業は引き続き実施。今年は大遠山地区に体験農園を整備するための予算を計上しています。

総務課

岩手県学生会館（東京都）建設事業への補助
 電算処理関係（財務会計・オンライン・農業管理センター負担金）
 行政区長関係
 町民憲章の推進
 国際交流（ポータジ市代表来町）
 役場庁舎ボイラー・冷房装置の設置
 基金積立（町債管理・二十一世紀へのまちづくりなど）
 起債元利償還金
 選挙関係（知事・県議会議員、町議会議員、農業委員、土地改良区総代）

日詰西地区土地取得事業特別会計

土地取得の長期債利子償還

企画課

広報関係（広報誌、有線放送、インターネット）
 総合発展計画基本計画の策定（業務委託）
 野村胡堂・あらえびす記念館の管理運営
 地域活性化（ふるさと会）



建築工事が進む勤労者総合スポーツ施設

ききょう荘の管理運営（委託）
 出稼ぎ対策

勤労者総合スポーツ施設の建設・器具購入
 クアパーク ラ・フランス研修産業館・湯楽々の備品購入
 町商工会への補助
 小売業店舗共同化事業への補助
 企業立地奨励金
 温泉保養公園の管理運営

税務課

確定申告受付支援システムの更新
 路線価区域宅地評価（業務委託）
 税務事業電算処理（業務委託）

町民課

住民記録などの電算処理（業務委託）
 国民年金
 福祉医療給付

国民健康保険事業特別会計

一般被保険者療養給付
 退職被保険者療養給付
 一般被保険者高額療養費
 老人保健への拠出

老人保健特別会計

医療給付費

長寿健康課

老人日常生活用具の給付
 在宅老人短期入所・デイサービス事業（委託）
 在宅介護支援センター事業（委託）
 老人ホーム措置委託
 介護保険システム機器購入



2歳6カ月児歯科健康診査

予算書から拾った

今年度各課などが担当する事業から、新たに取り組むもの、大きな予算を必要とするもの、皆さんに知っておいてほしいものを紹介します。

118億円の主な使い道

特別会計予算

平成11年度の特別会計予算を右に示しています。

国民健康保険事業と老人保健事業は、それぞれ受給対象者数の増加が見込まれることから予算額も伸びています。

また今年度から、日詰西地区に公共用地を取得するための「日詰西地区土地取得事業」が加わりました。

会計名	予算額	増減	
紫波公共下水道事業	14億5,343万円	17.6%	
農業集落排水事業	10億6,886万円	-8.7%	
国民健康保険事業	21億2,702万円	7.0%	
老人保健事業	33億1,002万円	5.5%	
日詰西地区土地取得事業	3億3,439万円		
水道事業	収益的支出	6億4,414万円	-2.6%
	資本的支出	5億223万円	-19.9%

温泉デイサービス事業（委託）
 予防接種（委託）
 母子保健
 各種健康診査（業務委託）
 特別養護老人ホーム建設・用地取得に
 関する借入金償還金への補助

生活環境課

ごみポイ捨て監視員の設置
 けやき学園建設費償還金への補助
 高齢者や障害者の住宅改造費助成
 すこやか号の運行（業務委託）
 児童手当の給付
 古館保育所の増改築（定員百二十人に）
 彦部児童館のトイレ水洗化工事
 ポイ捨て禁止啓発広告塔設置（五基）
 町火葬場の増築と水洗化工事
 し尿処理負担金（紫波・稗貫衛生処理
 組合）
 ごみ処理負担金
 （盛岡・紫波地区環
 境施設組合）
 常備消防費負担
 （広域行政事務組合）
 消防ポンプ自動
 車、小型動力ポンプ
 付搭載車の購入（各
 一台）



清掃センターでの資源ごみ分別作業

国営かんがい排水事業（山王海地区）
 への負担
 峠の駅・道の駅の管理
 総合交流ターミナル施設の管理運営
 （委託）

農林課

転作物（麦）の生産技術実証（農業
 生産体制強化総合推進対策事業）
 簡易ビニールハウス、ぶどう雨よけ施
 設、コンバイン導入などへの補助（新い
 わて農業再編総合対策事業）
 転作の受け手農家への助成

飼料作物生産用機械
 への補助
 牛舎建設への補助
 （低コスト肉用牛農家
 育成緊急対策事業）
 たい肥活用促進機械
 整備への補助
 農村公園整備（用地
 取得 長岡地区）
 県営土地改良事業へ
 の負担
 体験農園の整備（遠山地区、三・四へ
 クター）
 遠山連絡農道の舗装（延長四百十メー
 トル）
 ふるさと交流拠点システムの整備（情
 報提供機器の購入）
 農産物加工施設建設への補助
 松原連絡農道の舗装（延長四百九十二
 メートル）
 かんがい排水路の整備（遠山地区、延
 長三百二十メートル）
 林道芳沢線開設（延長百八十メートル）
 林道大久保線の改良（延長二百メー
 トル）・舗装（四百メートル）
 めくもり待合所の設置（二基）
 野菜・果樹などの苗木購入、機械導入
 などへの補助（農産振興対策事業）
 山林火災被災地への造林事業補助金
 町有林の管理



長岡地区親水公園完成予想図

農業委員会

農業情報管理システムの整備

土木課

道路整備
 ・改良舗装 希望ヶ丘線（延長百三十四
 メートル）、西部開拓線（三百メートル）
 砥堀宇南線（三百二十メートル）
 ・舗装 長岡徳田線（延長五百八十メー
 トル）、東裏三号線（百七十七メートル）

中野幹線（二百五十メートル）
 ・改良 新坊古屋敷線（延長二百三十三
 メートル）、上野沢丸森線（百メートル）
 県営橋梁整備事業への負担
 平沢川の改修（延長八十メートル）
 国土調査
 道路台帳修正（業務委託）
 街路灯の維持管理
 北上川の堤防除草（業務委託）

都市計画課

研修産業館の建設（継続事業）
 街路整備
 ・改良舗装 希望ヶ丘線（延長三百メー
 トル）
 ・改良 東裏中新田線（六十四メートル）
 日詰西地区の地下自由通路の設計と電
 線類地中化への補助
 （街並み・まちづく
 り総合支援事業）
 第二希望ヶ丘住宅
 の排水路整備（延長
 三百二十メートル）
 朝日ヶ丘北住宅の
 建設（三十戸）
 公営住宅の管理
 公園施設の管理



今年舗装される希望ヶ丘線

下水道課

合併処理浄化槽設置への補助（四十五基）
紫波公共下水道事業特別会計
 施設管理・電算処理（委託）
 設計業務・ポンプ場設備工事（委託）
 管路施設整備工事

農業集落排水事業特別会計

長岡南地区管路施設・処理施設工事
 片寄地区設計（委託）・管路工事

水道事業所

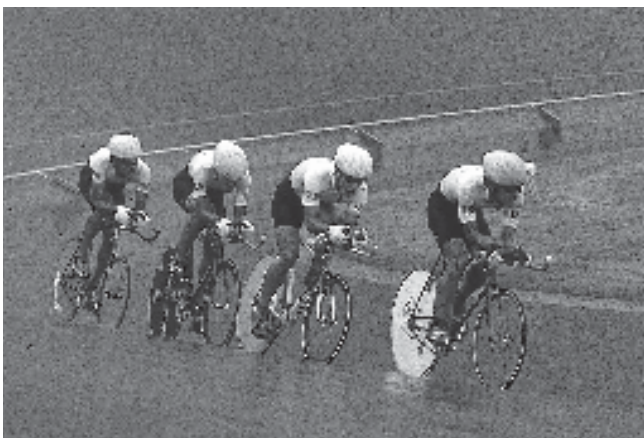
岩手中部広域水道企業団への補助・出資
水道事業会計
 配給水管などの施設整備
 第七次拡張事業（配水管整備）
 老朽管更新事業

総務学事課

赤沢小学校プール更衣室の新築
 長岡小学校の校庭整備
 紫波第二中学校屋内運動場の建設（延
 べ床面積千六百六十二平方メートル）

社会教育課

全国高校総合体育大会（インターハイ）
 町実行委員会への補助
 紫波自転車競技場の駐車場整備
 青少年・成人教育事業
 赤石小学校プール用地の遺跡（比爪館）
 発掘調査



8月にはインターハイ自転車競技が町で開催（写真：昨年の東北高校選手権大会）



新たな体制でがんばります

町では、新たな配置で町づくりに取り組むため、平成11年度の人事異動を行いました。今回異動した職員は、課長級15人、課長補佐級19人をはじめとする117人。課の再編など役場組織機構の改革に伴い、大幅な異動となりました。特に平成12年4月にスタートする介護保険への対応などのため福祉関連部門を強化しています。

なお4人の皆さんが3月31日をもって職場を後にされ、新採用職員3人が新たな戦力として加わりました。

退職した皆さん、新採用と異動した職員を紹介します。

退職した皆さん

三月三十一日付け

() 内は在職年数、最終職名

佐藤雄一さん(三十五年九ヶ月、農林課主幹) 佐々木英子さん(三十六年、保健衛生課主査) 畠山英樹さん(十年、税務課主任主事)、菅野仁さん(四年、税務課主事)

新採用職員 () 内は出身地

長寿健康課 工藤枝里(山形県) 古館保育所 鷹木千佳子(紫波町) 学校給食センター 齋藤正彦(江刺市)

異動した職員 () 内は前職

総務課 課長補佐 杉浦正治(企画課長補佐) 総務係長 箱崎茂己(議事事務局書記) 主査 藤尾正一(都市計画課主査) 阿部真弓(会計課) 畠山和史(土木課)

企画課 課長補佐兼企画係長 小田島栄太郎(同課企画係長) 商工労政係長 小田中修二(町民課町民係長) 觀光係長 工藤美保子(農林課主査) 佐藤幸子(水道事業所) 東山忠子(総務課)

税務課 課長 高橋栄悦(総務課長補佐) 葛博之(社会教育課・野村胡堂・あらえびす記念館勤務) 陣ヶ岡正則(農業委員会事務局) 高橋孝弘(農林課) 大石範仁(町民課)

町民課 課長 玉山貞夫(税務課長) 課長補佐兼窓口係長 佐藤幸子(福祉国保課長補佐兼児童福祉係長) 国保係

長 鷹齋千春(総務課総務係長) 工藤美和子(福祉国保課) 山口静香(福祉国保課) 阿部奈々子(総務学事課) 千葉広幸(福祉国保課) 作山文人(福祉国保課)

生活環境課 課長 七木田明(町民課長) 課付町社会福祉協議会派遣 北條文雄(保健衛生課長兼保健センター所長) 課長補佐 熊谷義昭(町民課長補佐) 課長補佐 齋藤順一(保健衛生課長補佐) 課長補佐 森田順子(中央保育所長) 福祉係長 小田中悦郎(福祉国保課福祉係長) 消防安全係長 佐藤澄(町民課

消防交通係長) 環境保全係長 松崎勝見(保健衛生課衛生係長) 主査 石川康(町民課主査) 工藤圭三(福祉国保課) 堀内由美子(町民課) 谷地館勝(福祉国保課) 鎌田一元(保健衛生課)

長寿健康課 課長兼保健センター所長 中田興治(福祉国保課長) 課長補佐 高橋恒行(福祉国保課長補佐) 課長補佐 中村利隆(福祉国保課付町社会福祉協議会派遣) 保健係長 佐々木チワ子(保健衛生課保健係長) 長寿社会係長 佐藤好雄(福祉国保課高齢者対策係長) 介護保険係長 伊藤美佐子(福祉国保課主任保健婦) 主査 石川和広(都市計画課主任主事) 課付矢巾町研修派遣 細川郁子(保健衛生課) 橋本信子(矢巾町・研修派遣) 野邊地真子(保健衛生課) 高橋まつ子(保健衛生課) 八重嶋幸子(保健衛生課) 野村直子(保健衛生課) 森川一枝(保健衛生課) 小川陽子(保健衛生課) 大堰千晶(保健衛生課) 吉田裕美(保健衛生課)

千晶(保健衛生課) 吉田裕美(保健衛生課)

生課) 星川利佳(保健衛生課) 熊谷
 満枝(保健衛生課) 課付町社会福祉協
 議会研修派遣(八重嶋志保(保健衛生課)
 藤尾美津江(町社会福祉協議会研修派遣)
 依正行(社会教育課) 内城拓(福祉国
 保課) 沼田信一(福祉国保課)

農林課 課長補佐(堀内憲一(下水道課
 長補佐兼集落排水係長) 課長補佐兼畜
 産林業係長(八重嶋雄光(同課長補佐)
 農政係長(藤原博視(企画課商工労政係
 長) 藤尾好子(町民課) 山上里香
 (企画課) 清水直樹(水道事業所)

土木課 課長(鷹鷲修司(農林課長補佐
 兼国土調査係長) 課長補佐兼維持係
 長(須川昭夫(同課維持係長) 橋本豊
 (農林課) 佐々木浩道(下水道課)

都市計画課 課長補佐(山下研悦(同課
 長補佐兼都市整備係長) 計画係長(花
 籠博文(農林課農政係長) 都市整備係
 長(高野修(企画課觀光係長) 主査(長
 谷川秀一(同課主任技師)

下水道課 課長(七木田和昭(同課長兼
 浄化センター所長) 課長補佐兼集落排
 水係長(菊池清(浄化センター所長補佐
 兼庶務係長) 佐藤美智雄(企画課)
 横沢晋史(農林課)

浄化センター 所長兼庶務係長(作文文
 昭(会計課長) 所長補佐兼業務係長(工
 藤巧(同センター業務係長) 高橋道
 行(総合体育館)

会計課 課長(橋本幸一(監査委員書記
 兼議事事務局次長) 佐藤真由美(福祉
 国保課)

水道事業所 次長(細川敏幸(土木課長
 補佐) 佐藤亮子(下水道課) 柳沢守

(農林課) 阿部雄(総務課)
議事事務局 書記(中田秀男(都市計画課)
監査委員 書記兼議事事務局次長兼議事
 係長(佐藤敬悦(福祉国保課国保係長)
農業委員会事務局 局長(菊池一政(同
 局長兼農業振興係長) 次長(阿部章夫
 (同次長兼農地係長) 農地農振係長(藤
 原尚(農林課畜産林業係長)
総務学事課 工藤智之(税務課) 坂本
 芳枝(町民課)

社会教育課 課長兼総合体育館長兼中央
 公民館長(佐々木忠(同課長兼総合体育
 館長) 主幹兼課長補佐(阿部英夫(同
 課主幹兼課長補佐兼社会教育係長) 課
 長補佐(大野久(都市計画課長補佐)
 社会教育係長(藤尾智子(総務課主査)
 野村胡堂・あらえびす記念館勤務(石川
 一子(総務学事課)

総合体育館 工藤大輔(水道事業所)
学校給食センター 所長(高橋光英(土
 木課長) 大崎美登里(古館保育所)
小学校・中学校 水分小学校(長谷川正
 一(紫波第二中学校) 上平沢小学校(工
 藤寅治(彦部小学校) 彦部小学校(佐
 藤克生(上平沢小学校) 紫波第二中
 学校(熊谷広一(水分小学校)

保育所・児童館 中央保育所 所長(熊
 谷敬子(古館保育所) 佐藤宙子(志
 和保育所) 金田一晴美(古館保育所)
古館保育所 所長(藤原秀夫(中央公民
 館長) 吉田明美(中央保育所) 佐々
 木幸子(学校給食センター) 志和保育所
 佐々木聡美(中央保育所) 彦部児童館
 館長兼赤沢児童館館長(似内進(学校給食
 センター所長)

異動した職員(課長級)



会計課長
橋本 幸一



土木課長
鷹鷲 修司



長寿健康課長
兼保健センター所長
中田 興治



生活環境課長
七木田 明



町民課長
玉山 貞夫



税務課長
高橋 栄悦



町社会福祉協議会派遣
(生活環境課付)
北條 文雄



浄化センター所長
兼庶務係長
作山 文昭



彦部児童館長
兼赤沢児童館長
似内 進



古館保育所長
藤原 秀夫



学校給食センター所長
高橋 光英



社会教育課長兼総合体育
館長兼中央公民館長
佐々木 忠

農業委員会だより

新基準で明るい雇用関係を

3月23日の第33回農業委員会総会で平成11年度農作業標準賃金が決定しました。「頼む人」も「頼まれる人」も標準額を守った明るい雇用関係を結び、農業経営の安定に努めましょう。

今年度のポイント 今年度は景気状況をふまえ、ほとんどが据え置きとなりましたが、大きな変更点が4つあります①「コンバインの麦」に「ドリルは種」のほか、「立毛間は種」 いわゆるバラまきの欄を新設②第二に「乾燥・調製」の「補助乾燥」・「生もみ」を値上げし、「生もみ」については水分25%以上の場合、当事者間で協議③「けいはん塗り」を値下げ④「溝切り」欄の追加と、「もみ摺」欄の削除

機械の部

作業種別	基準	標準額(円)	摘要		
マニアスプレッタ	10アール当たり	4,500	種込散布のみ、1.5tを基準 運搬費は実費		
ブロードキャスター	"	1回 700 2回 1,000 3回 1,300			
トラクター	水 耕 起	"	4,500		
	田 整 地	"	6,000		
	畑 耕 起	"	5,000		
田 植	育 苗	1 箱	う る ち / 700 も み / 710		
	田植機	10アール当たり	5,600		
機械草刈	1 時 間	2,000	水田畦畔を基準とする		
バインダー	10アール当たり	7,500	結束ヒモ付とする		
ハーベスター	"	7,500			
コンバイン	10アール 当たり	麦	13,500	ドリルは種	
			10,000	立毛間は種	
		稲	17,500	(結束紐付)	湿田倒伏の場合話し合いにより20%以内で割増することができる。
			20,500		
乾燥・調製 (もみすりも含む) 30kg	補助乾燥(水分18%未満)	600			
	生粃(水分25%未満)	800	水分25%以上については当事者間で協議のこと		
	生 麦	730			
けいはん塗り	1m当たり	60			
溝切り	転作田10アール当たり	2,500			

留意事項

作業時間・休憩時間
四月から八月 午前七時から午後六時まで(午前 午後三十分休憩、昼休み二時間)
九月から三月 午前七時から午後五時まで(午前 午後三十分休憩、昼休み二時間)

一時間)
この賃金表の超過額は、実働八時間を超えて働いたときの一時あたりの金額です。
「マカナイ」は「コビル」だけにしてください。
各種の機械利用で、未整理ほ場や稲麦

人力の部

作業種別	基準	標準額(円)	超過額(円)
水田一般	1時間	750	900
果 樹	剪 定	1,400	
	その他	625	700
畑作業	"	625	700
オ臨 ベ時 レ ー タ ー	コンバイン	"	1,400
	トラクター	"	1,300
	薬剤散布(果樹)	"	1,400
一 般	きんたけ作業	"	625
	施設園芸作業	"	625

が倒伏している場合、技術を要する作業料金は割増することができますが、金額については当事者間の話し合いで決めてください。
この表以外の作業については、当事者間で定めてください。

平成11年度前期紫波町スポーツ教室生徒募集

4月25日(日)午前10時から総合体育館窓口で受付を開始します

教室は初心者・初級者を対象として基本を中心に指導します。申し込みする人は参加料持参の上、総合体育館事務室に直接おいでください。 問い合わせ先：総合体育館 ☎676-2650 有線01-3163

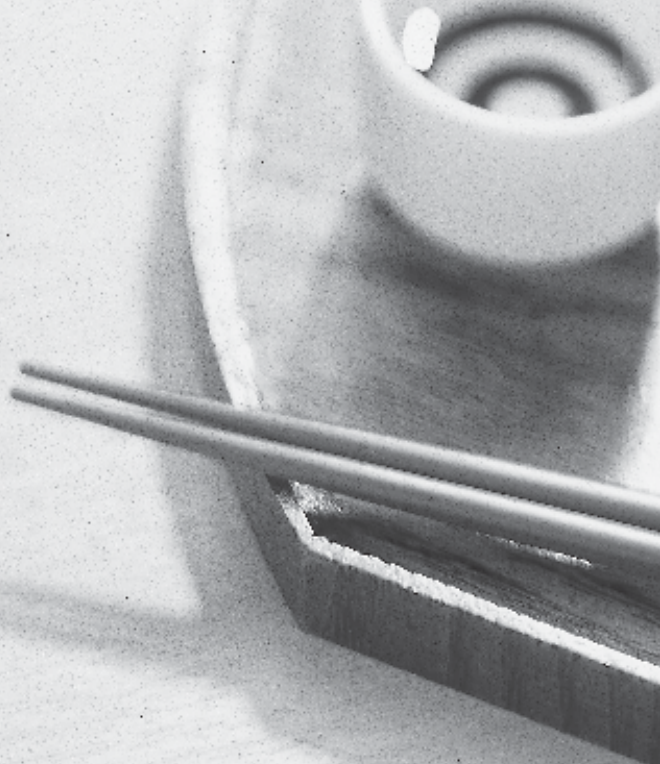


教室名	期間・時間	対象者募集人数	会場	参加料	教室内容	
高齢者体育大学	7月19日～2月21日 毎週月曜日 9:30～11:30	高齢者 定員60名	総合体育館 陸上競技場	4,000円	グラウンドゴルフ、ニュースポーツ、レクリエーション、健康体操、おどり、ネイチャーゲームなど盛りだくさん	
健康体操教室	5月10日～7月12日 毎週月曜日(10回) 9:30～11:30	一般 定員40名	総合体育館	2,000円	音楽を聴きながらの体操や、腰痛・肩こりをやわらげる体操も。高齢者体育大学に申し込んだ人は自由に参加可	
レスポーツ教室	ヨーガコース	5月15日～7月17日 毎週土曜日(10回) 10:30～12:00	女性 定員25名	総合体育館	2,000円	ホームヨーガの基本を指導
	ソフトテニスコース	5月10日～7月12日 毎週月曜日(10回) 10:00～12:00	女性 定員25名	テニスコート	2,000円	ソフトテニス(軟式庭球)の基本からゲームまでを指導。ラケットも貸し出しあり
エアロビクス教室	5月14日～7月16日 毎週金曜日(10回) 19:00～21:00	16歳以上 定員40名	総合体育館	2,000円	体を動かしたい人大募集	
チビコスポーツ教室	5月14日～7月16日 毎週金曜日(10回) 10:00～12:00	幼児と親 定員25組	運動公園内	親子で2,000円	親子体操、運動あそびなど	
サイクリング教室	5月16日～9月26日の 間の日曜日(8回) 7:00～9:00	小学生以上(小学3 年生以下は保護者 同伴)定員30名	町内	小・中学生1,000円 一般2,000円 (おやつ代含む)	おやつ付きの町内サイクリング	
少年少女スポーツ教室	ミニバスケットボールコース	5月29日～7月31日 毎週土曜日(10回) 14:00～16:00	小学5・6年生 定員30名	総合体育館	1,000円	ミニバスケットボールの基本からゲームまでを指導
	剣道コース	5月8日～9月25日 毎週土曜日14:00～16:00 毎週木曜日16:00～18:00	小・中学生 定員30名	総合体育館	1,000円	剣道の基本を指導
	柔道コース	5月8日～9月25日 毎週土曜日 15:30～17:00	小・中学生 定員30名	総合体育館	1,000円	柔道の基本を指導
	サッカーコース	5月8日～7月10日 毎週土曜日(10回) 14:00～16:00	小学生低学年 定員40名	日詰小学校	1,000円	サッカーの基本からゲームまでを指導
ラージボール卓球	5月11日～7月13日 毎週火曜日(10回) 19:00～21:00	一般 定員20名	総合体育館	2,000円	普通の卓球用ボールより大きく軽いボールを使用。ラケット貸し出しあり	
なぎなた教室	5月8日～9月25日 毎週土曜日 16:00～18:00	小学生以上 定員20名	総合体育館	小・中学生1,000円 一般2,000円	なぎなたの基本を指導	
テニス教室	5月9日～7月11日 毎週日曜日(10回) 10:00～12:00	一般 定員50名	テニスコート	2,000円	硬式テニスの基本からゲームまでを指導。ラケット貸し出しあり。	
ナイターテニス教室	5月12日～7月14日 毎週水曜日(10回) 19:00～21:00	一般 定員50名	テニスコート	3,000円	硬式テニスの基本からゲームまでを指導。ラケット貸し出しあり	
水泳教室	5月10日～7月12日 毎週月曜日(10回) 18:30～20:30	一般 定員25名	ラ・フランス温泉 館 現地集合	2,000円 (プール使用料は別途)	水泳の初歩から正しい泳ぎ方まで指導	
水中運動教室	5月13日～7月15日 毎週木曜日(10回) 18:30～20:30	一般 定員30名	ラ・フランス温泉 館 現地集合	2,000円 (プール使用料は別途)	水遊びを楽しみながらの運動	
ゴルフ教室	5月18日～7月21日 毎週火曜日(10回) 19:00～21:00	一般 定員20名	盛岡市手代森 ゴルフ場 現地集合	3,000円 (ボール代は別途)	初心者を対象とした基本からラウンドまでを指導	

参加料には、スポーツ安全保険料が含まれます。
定員になり次第締め切りますのでお早めに申し込みください。

達人 拝見

「達人なんて呼ばれるほど、枯れちゃいません」という横沢さんは、ときには月の輪酒造店の陣頭指揮をとる社長として、そしてときには酒造りの設計を務める杜氏として、全国の月の輪ファンと交流を深めています。今回はそのこだわりについてうかがいました。



今回の達人：横沢大造さん
創業明治19年の月の輪酒造店の店主であり、杜氏としてもその腕を振るう。店名の由来は、陣ヶ丘の藤原秀衡の構築した「月の輪」形の池から名づけられたもので、作り出す清酒のほとんどに「月」の文字が付く。

「マスコミの方は社長が杜氏だとか、娘が杜氏になる予定とかでいろいろ取り上げていただきますが、私にとっては当たり前の話なんです」

多くの酒造会社

が杜氏を外から招くことが多いなか、自ら杜氏を務める横沢さんはまさに「当たり前」の口調で話し出しました。「杜氏を外から招けば、いつの日か杜氏がよその蔵に移る日が来るかもしれない。そうなれば酒の味が変わりますよね。けれどお客さんに『杜氏が変わりましたんで味も変わりました』なんて言えないですよ。これは消費者に対して裏切り行為ですよ。だから酒屋も杜氏というものにおんぶに抱っこではいけない。その蔵ならではの技術を確立するようにしたいんです」

横沢さんは今回の仕込みでも新たな試みを行ったそうです。ひとつはコメの精米率を従来より五割削って六五割としたこと（精米率を上げるほどいい清酒になるといわれています）、仕込みタンクの容量を少なくして、よりよい管理下においたこと、そして酒の味を調節するアルコールを三年寝かせたものを使用し、よりまるやかにしたこと。この三点を実行した清酒は「もちろん自信作です」と話してくれました。お嬢さんのお酒も飲んでみたいですねという「まだまだですよ。二十四歳でそこまで技術は高くなりません。ま、いつの日にか…ですかね」。達人というのは枯れた人の話。そう語った横沢さんでしたが、やはりそのこだわりはまぎれもない達人でした。



創業以来の建物

次々に映し出される映像は、普段目にしている風景のはずなのに、改めて紫波が美しい町であることを認識させてくれるものでした。

「きれいなビデオだったでしょう」「紫波・21世紀まちづくり塾」の塾長・菅原一さんは、そついいながら穏やかな笑みを浮かべています。

「紫波・21世紀まちづくり塾」が企画・制作した「四季彩 紫波 ~ 未来への贈りもの~」というビデオの公開は三月二十日、野村胡堂・あらえびす記念館で開かれた「紫波の美 発見フォーラム」の中で行われました。実に二年もの歳月を費やした労作は、「自然が作った美や先人が残した美的感覚を二十一世紀に引き継ごう」という目的で制作されました。その中心となったのは塾内のグループである「紫波『美・レッジ探偵団』」の皆さん。「現在三十人の塾生がいますが、それぞれ自分の特技とか、好きなものとかで活動内容が違いますよ」と、菅原さんはいます。

もともとこの塾ができたのは、平成三年に農林水産省が全国の農村に呼びかけた「二十一世紀むらづくり塾」づくり運動が始まりでした。当初は町が中心になって活動していましたが、現在では自治体から離れ、塾長を先頭にイベントや各地との交流を行っています。

「最初はフルーツの里まつりのPRや祭りへの参加からスタートしたんですよ。それから恒例になった夢なのかウソなのかわからないような『ホラ吹き大会』をやったんです。いまではこの『ホラ吹

き大会』が自分たちの仲間をつくるための場にもなっているんですが」

確かにメンバーは個性的な人ばかり。明るく前向きという共通点のもと、ホラ吹き大会』では衣装仕立てや講演調など、趣向を凝らして毎年参加しています。

「紫波って本当にいい町だと思っんですよ。気候、人柄、環境とどれをとってもね。だからこれからは『公開講座』みたいなことをしてみたいですね。みんなと一緒に紫波のことやいろいろなることを勉強していく会というんでしょうか。そつしたところに新しく住民となった人たちを巻き込んで、もつとおもしろい町にしていきたいですね。それと今年はふるさと会にも行ってみたいですね」

「紫波・21世紀まちづくり塾」への入会方法
年齢制限などはいっさいなし。入会希望者は事務局の細川さんへ連絡を。(自宅 ☎673-6639、携帯 090-2600-1667)



塾長の菅原一さん



(株)農村開発リサーチ代表取締役の田中満さんも応援の講演で会場を盛り上げた。

紫波・21世紀まちづくり塾
二十一世紀に紫波の景観を引き継ぐためビデオまで制作した異色集団。さてその活動内容は？

我がサークル。ただいま奮闘中!



ビデオ「四季彩 紫波 ~ 未来への贈りもの~」は畠山写真館(桜町) ☎672-2460で3000円(税別)で販売されています



盛況だったビデオ上映会

絵本が作る心豊かな子ども、子どもに学ぶ心豊かな生活

「サークルおはなしの森」を訪ねて

子育てとその周辺から話題や情報を提供するのがこのページ。今回は、子どもの本や絵本を通じて、子育て支援や情報交換をしているサークル「おはなしの森」代表の菅原和子さんにお話をうかがいました。いつだってどんな活動をしているのか、熱意あふれる菅原さんのお話には夢がたくさんあふれています。



菅原さんおすすめの絵本(上)と3月23日の第1回おはなし会(左)



菅原さんとお子さんたち



あつまれおかあさん

サークル結成のきっかけを教えてください。

菅原 「実は福島で三年、仙台で三年すでにこの活動をしていました。知り合いの方に教えていただき、子どもの本や絵本のすばらしさに気づいてからはもう夢中でした。大人にも難しいことが、子どもの本なかでは明快に語られていたり、分かりやすく物語になっている。そしてそれを子どもたちに聞かせることで、子どもたちにも豊かな心が芽生えてゆくと、それを実際に自分の子どもで体験したとき、この活動にのめり込んでいき

ました。紫波に来てまだ一年ほどなのですが、どうにも図書館の活動が寂しいことから仲間を募ってはじめてなんです」

現在の「おはなしの森」では具体的などんなことをしているんですか。

菅原 「会員は現在八名。三月十三日に念願の第一回おはなし会を中央公民館で開催しました。なんと親子五十人も集まっていた。グリン童話の素話や紙芝居などをお見せしました」

反響はいかがでした。

菅原 「最初はやっぱりとまどいもあつたようです。でも時間が経つにつれ、どんどん引き込まれていく様子が分かるんです」

ところで子どもにおはなしを聞かせるといのはどういう効果があるんですか。

菅原 「一言で表現すれば『心豊かな子どもができる』というんでしょうか。実際私は三人の子どもを育ててきましたが、最初の子どものときには私自信も子どもの本というものを知らなかったんですよ。でも、三人目のときには子どもの本のすばらしさに気づいていましたから、いつも読んで聞かせていました。その子どもたちを見て、ああ、こんなに違うものなのかなと感じたんですね」

でも、小さな子どもはジツとしてないですし、興味のあるものしか見ませんよね。

菅原 「無理強いしたり、教育だと思つたらダメでしょうね。これは親と子が一緒の世界を共有する喜びだと思つてます。つまりそれは自分が幸せになるとい

うこと。そのためには親がまず子どもの本のすばらしさに気づかないといけないでしょうね。普段の会話やテレビでは決して『』ということでしたマル』なんて表現は出てこないですよ。本にしかない世界があるということをお子と気づいてゆければ最高だと思います」

今後の活動予定とかは決まっていますか。

菅原 「これから田植えがありますから(笑)、それが一段落した五月ぐらいからまたおはなしの会を開きたいと思つています。先日青森の図書館からたくさん本が寄贈されました、おはなしの会の際に貸し出しもやってゆきたいですね。ただスタッフが少ないので、ボランティアをお手伝いしていただける貸し出しスタッフを募集しています。もちろん会員も募集中。『子育てに読みかかせ』『毎日のなかにおはなしを』を合い言葉に子どもの本や絵本、子育てについて意見交換し合える場です。気軽に参加してほしいですね」

「おはなしの森」参加方法

サークル「おはなしの森」は子どもの本、絵本、子育てを通じて感じたことを意見交換する自由なサークルです。現在会員を募集していますので、興味がある、参加したいという人は次の連絡先へ問い合わせしてください。

町中央公民館

紫波町日詰字丸森24-1

☎ 672-3372 有線01-2922

石井清蔵さん(佐比内)に聞く

“食べてよし、飲んでよし、風呂によし” 三拍子揃ったペパーミントの栽培

日本人にはなじみの薄そうなハーブですが、使い方は多様。今回はそのなかでも使い勝手のよいペパーミントにチャレンジしてみましよう。

ミント味といえば、誰でも思い出すあのハツカの風味。ペパーミントはそんな清涼感にあふれたハーブです。今回はペパーミントを作っている佐比内の石井清蔵さんにそのポイントをうかがいました。

「ペパーミントは基本的には非常に育てやすいハーブ。ただし問題は発芽で、タネから育てる場合にはここが意外に難しいポイントです。ですから初めての人には苗を購入するのがおすすめです。それとペパーミントは増やしやすいうちでもあります。株分け(大きく育った株をいくつかに分け増やす方法)しなくても、根が少しあればすぐに大きくなっていくんです。小さな花壇なんかにはペパーミントを植えてしまつと、ペパーミントだらけになる可能性もあります。あまり増やしたくないならプランターで育ててもいいでしょうね」

実は石井さんは平成四年に書店をやめて埼玉から移住したという経歴の持ち主。周りが育てていないものを作ってみようと思いい、このハーブ栽培をはじめたそうです。

「現在十数種のハーブを栽培していますが、そのなかでもミントは岩手の寒さにも耐えますし、多年草です。ですから毎年花と味を楽しめることができますね」



【ペパーミント】シソ科、多年草

【ポイント】

日当たりがよく湿り気を好む。株分けやさし穂で簡単に増やせる。

【利用法】

熱湯を注ぎ数分おいて飲むハーブティーが一番。また肉を使った炒め物や魚料理にも。さらにおすすめがハーブバス。体が温まるので冷え性の方には最適

チャレンジ・キッチンガーデン Challenge Kitchen Garden

藤原光子さん(赤沢)に聞く

シバザクラだけでは飽き足りないという人へ かれんなクモマゲサで庭を彩る

春の庭先でよく見る花がシバザクラ。一面を花で飾る魅力はありますが、今回は少し変わった花にスポットを当ててみました。

「クモマゲサ」と聞いて、

「ああ、あの花」と思い出せる人はなかなかの園芸通。実際にはまだあまり

市場に出回っていませんが、赤沢の藤原光子さんはこの花をふやし、産直センターにも出しています。

藤原さんにクモマゲサの特徴を聞いてみました。

「実は私もまだ数年しか育てていない品種です。かれんな白やピンクの花を付ける園芸用品種で、漢字では「雲間草」と書くんですね。この花は、本来高山植物なんです。そうですがいま出回っているのは品種改良されたもの。ですから庭に植えれば徐々に広がって、シバザクラとは違った趣になりますね。ただ、シバザクラほど強くはないので、はじめのうち株がしつかりするように鉢での栽培をした方が無難だと思います。半日陰で直射日光にあて続けられない場所での栽培がいいですね。私の場合、冬の間はサンルームに入れておいて春早いうちに花をつけさせますが、一般的には五月ぐらいが開花期です。冬は一度枯れますが、春になればまた新しい芽が出てきますので、枯れたと思っても捨てないで大事に育てれば何年も楽しめます」

ラン栽培をはじめて二十年以上になるといふ藤原さんは、娘さんの同僚が勤める農園からこのクモマゲサを分けていただいたとのこと。新しい品種はついでに育ててみたいくなるそうです。

「そして冬にはフンが花をつけてくれるからとにかく一年中花って楽しめるの」と花栽培の喜びを語ってくれました。



四季華々しく

- ▶場所 運動公園陸上競技場
- ▶参加資格 町内に住んでいる高齢者
- ▶参加料 年間1人600円
- ▶申込み 老人クラブに入っている人はクラブの会長さんに。入っていない人は直接総合体育館へ
- ▶期限 4月25日(日)
- ▶問合せ 総合体育館 ☎676-2574 有線01-3163

日	程
8:30~8:50	受付
9:00~9:20	開会式
9:20~12:00	競技
11:00~12:00	保健婦による健康相談

紫波中央駅開業1周年記念 特別列車が運行されます

JR紫波中央駅の開業1周年を記念して、次のとおり特別列車が運行されます。隣近所や友達同士、お誘い合わせのうえご参加ください。

- ▶期日 5月25日(火)~26日(水)
- ▶代金 1人26,000円
- ▶募集人員 120人先着締め切り(最小催行人員80人)
- ▶行程 25日=紫波中央駅 日詰駅 -ノ関 気仙沼 浦の浜 亀山 浦の浜 気仙沼 ホテル
26日=ホテル 唐桑半島 ビジターセンター ちば海産 気仙沼 日詰駅 紫波中央駅
- ▶宿泊 南気仙沼 サンマリン気仙沼 ホテル観洋
- ▶申込み・問合せ JR日詰駅 ☎672-2702有線04-6181、びゅうプラザ盛岡 ☎624-1022

し尿受入業務週休2日制に

紫波、稗貫衛生処理組合のし尿受入業務は、これまで第1、3土曜日も行っていましたが、4月以降は完全週休2日制となります。土曜・日曜日の受入は行いません。

- ▶問合せ 紫波、稗貫衛生処理組合 ☎672-2017

あづまね温泉 給湯業務の時間変更

あづまね温泉の給湯業務(家庭向け

- 温泉販売)は、4月から「午前10:00~午後7:00」の営業時間となります。
- ▶受付場所 ききょう荘フロント(休業日=第2、第4火曜日)
 - ▶販売料金 100リットルにつき150円
 - ▶問合せ ききょう荘 ☎673-7670 有線02-3330

移動図書館かたくり号 4月の巡回日程

- ▶4月21日(水) 9:10長岡・常川公民館 9:40犬吠森・中市商店裏 10:10遠山・正音寺駐車場 13:30赤沢児童館 14:00佐比内牛の頭・福山さん宅 14:15佐比内田屋・藤原商店 14:40佐比内公民館 15:10彦部児童館
- ▶4月22日(木) 9:00犬淵・吉田商店前 9:25平和台病院 9:55JA本所パーフルパレス 10:20キャメルマート玉山 10:45JA志和支所 13:30中央保育所 14:00JR古館駅前 14:25前郷公民館 14:55高水寺中田・武田さん宅 15:15高水寺中田・佐藤さん宅 15:50二日町・巻藤さん宅
- ▶4月23日(金) 9:00日詰・小野寺会計事務所 9:30日詰・畠山ガソリンスタンド 10:00勤労青少年ホーム 10:15役場本庁舎 10:45役場分庁舎 13:30彦部・野上公民館 13:55彦部川前・内村商店前 14:20JA佐比内支所 14:50野村胡堂・あらえびす記念館 15:10JA東部支所
- ▶4月26日(月) 9:00上平沢・北越物産(株) 9:30南伝法寺・須川さん宅 10:00南伝法寺・水田さん宅 10:25水分児童館 10:45志和古稲荷神社 11:10あづまね温泉ききょう荘 13:30高水寺加藤米穀店 13:55エヌケー紫波 14:10志和保育所前 14:35ありんこ文庫 14:50山王海土地改良区 15:20あづま幼稚園前
- ▶4月27日(火) 9:00赤石神社参

- 道 9:30橘建設(株)駐車場 10:00山王海鹿妻農業水利事業所駐車場 10:25法務局前 13:30稲藤第1公民館 13:55紫波プラム 14:15片寄保育所 14:35片寄・漆立公民館 15:05にいやま荘 15:25二日町・田中前児童公園

あらえびす記念館で レコード・レーベル展開催

胡堂のレコードコレクションから、特に貴重なものを展示します。

- ▶期間 4月27日(火)~5月30日(日)
- ▶開館時間 午前9:00~午後4:30
- ▶休館日 5月10日、17日、24日
- ▶問合せ 野村胡堂・あらえびす記念館 ☎672-6896

善意の窓

大野晴久さん(日詰)は、現金10万円を福祉基金に

茂木一男さん(神奈川県)は、書籍183冊を野村胡堂・あらえびす記念館に

職業訓練法人岩手中央職業訓練協会紫波支部の皆さんは、町内の小・中学校や保育所、児童館の修繕ボランティアを

紫波塗装工業組合(藤城和範組合長)の皆さんは、町内の小中学校6校の黒板を塗装ボランティア

平成10年度星山小学校父母一同(田畑憲子代表)は、物置1棟を同小学校に

富岡廣さん(桜町)は、現金100万円を福祉基金に

趣味・経験を生かし 創作活動発表の場に

(財)岩手県長寿社会振興財団では、「いわてねんりんピック'99シルバー作品展(ねんりんピック'99福井美術展出品作品選考会)」、「世代・ふれあい作品コンテスト」への出品者を

(P18へ続く)

休日当番医 (午前9:00~午後4:00)

5月 2日	県立紫波病院(紫波町桜町)	☎676-3311
3日	高橋内科医院(矢巾町又兵衛新田)	☎697-2616
4日	直島医院(紫波町上平沢)	☎673-6967
5日	不動診療所(矢巾町室岡)	☎697-3137

情報 掲示板

環境保全審議会委員を募集

町では、町の環境保全について調査や審議をしていただく環境保全審議会委員を募集します。

▶対象 町内に住んでいるか勤務している20歳以上70歳未満の人

▶募集人数 3人

▶応募方法 官製ハガキに、応募した理由（簡潔に）、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記入して町生活環境課に送付

▶締切 5月14日（金）必着

▶応募先・問合せ 〒028-3390日詰字西裏23-1 役場生活環境課環境保全係 ☎内線157 有線01-8921

4月25日は城山公園へどうぞ 城山さくら&地酒まつり

桜の名所、城山公園を会場にして、4月25日（日）「城山さくら&地酒まつり」が開催されます。

町内の造り酒屋4社による地酒やワインを味わいながら、見事な桜を楽しむことができます。

また、イベントも盛りだくさん。恒例の「のど」自慢やもちまきなど、特設ステージを中心に、大人から子供まで一日中楽しめる催しを用意しています。

現在地酒・ワイン・焼き鳥などおつまみがセットされた前売りチケットを発売しています。

前売り券発売中

「地酒+焼き鳥+つまみ」がセットになったチケットは1枚1,500円。お求めは、役場企画課観光係（☎672-2111 内線325有線01-8891）か、町商工会

（☎672-2244有線01-2966）まで

城山さくら&地酒まつり

4/25日曜日（雨天29日）
イベントあんない

- 9:00～ 民謡王座決定戦
- 10:30～ 歌謡のど自慢大会
- 12:00～ シャイニーメイツ
演奏
- 12:30～ 地酒まつりセレモニー、お静コンテストの発表、地酒各賞の発表、紫波ひめ隊オンステージ
- 14:30～ もちまき大会
このほか、子供ゲーム大会や自然観覧会、風情たっぷりの野点もあります

夢ふれあい「赤沢果りん号」運行開始

4月から夢ふれあい「赤沢果りん号」（福祉バス）の運行が始まりました。運行ルートは往路が午前8:00に八掛を出発し岩手県立紫波病院前まで、帰路が岩手県立紫波病院前を午後1:00に出発し八掛まで。運行日は月・火・水・金曜日で、木曜日は従来どおり「すこやか号」をご利用ください。

日詰16・17区の行政区長さん

日詰16区・17区の行政区長さんが次のとおり決まりました。（4月1日付け）

日詰16区 土橋久忠さん
（紫波中央駅前3丁目 ☎676-5794）

17区 菅原孝一さん
（紫波中央駅前4丁目 ☎672-5286）

民生児童委員が変わりました

2月23日付けで、民生児童委員の変更がありました。

日詰1・2区 高橋光雄さん
（日詰字石田 ☎676-2822）

日詰12・13区 成海賛子さん
（二日町字南七久保 ☎676-2067）

青少年ホームで会員募集

勤労青少年ホームでは、次のとお

り、平成11年度の会員を募集しています。一度会員登録をすれば気の合った仲間同士、ホームの施設を自由に使えます。

講座やクラブ活動は多種多様、5人以上の仲間が集まれば新しいことでも始められます。

会員の申し込みは随時受け付けていますが、長期講座を受講したい人は、5月中旬までに申し込みを。

▶対象 おおむね30歳くらいまでの働く青少年で、町内に住んでいるか勤務している人

▶入会金 年会費1,000円

▶長期講座 生け花、茶道、英会話、書道、バドミントン、着付、中国語

▶短期講座 ゴルフ、テニス、浴衣着付、スカイ&マリンスポーツ、料理、お菓子づくり、乗馬、水泳、陶芸、パソコン、スキー、スノーボード、手品

▶申込み・問合せ 町勤労青少年ホーム（開館午後1:00～9:00）日詰西一丁目2-14 ☎676-2344 有線01-3134

青少年ホームを開放します

勤労青少年ホームでは、ホームの会員以外でも、クラブやサークル活動の場として施設の利用ができます。

▶利用できる時間 午前10:00～午後5:00

▶対象施設 ホーム内の軽運動場、音楽室、和室、会議室など

▶利用料 無料

▶休館日 土・日曜日、祝祭日

▶申込方法 青少年ホームに電話、有線で申込

▶申込・問合せ 町勤労青少年ホーム（日詰西1丁目2-14）☎676-2344 有線01-3134

グラウンドゴルフ 月例会が始まります

今年も町教育委員会が主催するグラウンドゴルフ月例会が始まります。生きがいと健康づくりのため、ふるってご参加ください。

▶期日 5月11日、6月1日、7月6日、8月3日、9月7日、10月5日の6回。いずれも火曜日

次のとおり募集します。出品作品は6月17日(木)から20日(日)までの間、盛岡市内丸の岩手県民会館第1・第2展示室で展示されます。時間は午前9:00~午後5:00(最終日は正午まで)

▶出品料 無料

▶応募方法 それぞれの出品申込書に必要事項を記入して同財団に送付

▶応募締切 5月14日(金)必着

▶作品の搬入 6月16日(水)午前10:00~12:00。宅急便などでの直接配達も可(費用は応募者負担)

▶応募先・問合せ 〒020-0015盛岡市本町通3-19-1福祉相談センター3階(財)岩手県長寿社会振興財団事務局規格推進課 ☎626-0196

いわてねんりんピック99
シルバー作品展

▶部門 日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真。規格などは同財団に問合せを

▶出品者資格 県内に住んでいる60歳以上(昭和15年4月1日以前に生まれた人)のアマチュア

▶出品点数 全部門を通じ1人1点。応募者により創作された作品で未発表のもの

▶テーマ 自由

世代・ふれあい作品コンテスト

▶テーマ 「世代」自分とは別の世代を題材とした作品や世代間の交流を感じさせる作品。例えば、孫の写真、子どもが題材の絵、子ども服、親子の彫像など

▶出品者資格 県内に住んでいる50歳以上(昭和25年4月1日以前に生まれた人)のアマチュア

▶出品点数 1人1点。応募者により創作された作品で未発表のもの。シルバー作品展への出品者も出品可

献血コーナー

お詫びと訂正

広報紫波3月号において5ページの「役場の主な仕事を紹介します」の表で誤りがありました。

生活環境課の係は環境保全係と消防安全係、福祉係の3係で、表に入っていた保健係は長寿健康課(保健センター)に含まれます。

訂正しおわび申し上げます。

~ 献血ありがとう ~

✦3月11日 役場本庁舎200ml3人400ml4人、山王海ダム鹿島・三幸・東急共同企業体工事事務所200ml8人400ml12人

✦3月15日 日詰商店街駐車場200ml2人400ml3人、岩手ニッカン株式会社200ml1人400ml8人、東北農政局山王海鹿妻農業水利事業所200ml1人400ml2人、生鮮市場古館店200ml4人400ml5人

町内の求人情報

記載例 会社名: 所在=職種/年齢/人数/基本給(円)/求人No.

株式会社東北クロレラライト販売商品・物流管理センター: 犬淵=商品仕分けスタッフ/18~40/2人/174,000~204,000/2111591

有限会社ペイプサービス: 日詰=事務職員/22~35/1人/120,000~140,000/1417591 工事社員/22~45/3人/156,000~216,000/1418191

東北サンミックス株式会社: 片寄=事務職/18~30/1人/164,500/2156091

株式会社カンショク岩手工場: 北日詰=荷役作業員/45~/1人/106,412/2184491

作松建設: 犬吠森=建築大工/25~50/1人/150,000~300,000/2017691

有限会社川村造園: 山屋=造園工/18~40/2人/138,000~230,000/1929991

株式会社エルク: 佐比内=営業事務/18~27/1人/130,000~180,000/1793391

株式会社みちのく甚兵衛: 上平沢=事務/18~40/2人/130,000~180,000/1605391 営業/20~50/5人/150,000~300,000/1785391

ジャスコ株式会社マックスバリュ紫波店: 北日詰=商品陳列および製造/18~50/4人/650~850(パート)/1629191

パーマ館髪飛行機(ヘアメイクエステティックタイムカミヒコーキ): 高水寺=美容師インターン/19~25/2人/140,000~220,000/1529791

有限会社東日本電設: 稲藤=電気工事作業員/35~55/1人/159,000~209,000/1910991

藤林コンクリート工業(株)岩手営業所: 犬淵=営業係/20~30/2人/155,000~218,000/1633791

大同電気工業所: 日詰=電気工事士/18~40/2人/190,000~240,000/1588291

合資会社富岡鉄工所: 桜町=土木、管工事技術者及び見習/18~40/3人/200,000~350,000/1527991

株式会社遠山産業: 遠山=一級土木施工管理技士/20以上/2人/400,000~500,000/1528491

有限会社山田左官工業: 北田=タイル工/18~50/3人/200,000~300,000/1530591 住宅基礎工事作業員/18~50/2人/200,000~300,000/1531191

橘建設株式会社: 桜町=土木技術者/25~50/2人/200,000~400,000/1466891

株式会社岩手畜産流通センター: 犬淵=食肉製造作業/18~35/1人/140,000~193,000/1386891

3月1日から31日まで盛岡公共職業安定所への届出分を掲載
就業希望者へ 盛岡職安 ☎651-8811への問合せは紹介No.を告げてください。また事業所へは、職安の紹介状を持参してください
事業所へ 掲載しているのは盛岡職安へ申し込んでいる企業等です

保健センターだより

毎日を快適に過ごすため 健康診査は必ず受けましょう

皆さんのお手元に、各地区の保健推進員を通じて今年1年間の健康診査に関するカレンダーと各種健診の通知書が届いていると思います。

今年予定している健診は下表のとおりです。詳しい日程などはカレンダーをご覧ください。カレンダーは家族みんなの見えるところに貼り、全員の健康診査計画を立てましょう。

通知書は、家族全員分を一緒に配布します。年齢や地区で健診内容に違いがありますので、必ずお確かめください。なお職場や学校などで健診を受けている人や主治医のもとで診療を受けている人は、必ずしも町で行う健診を受ける必要はありません。このような人は、通知書を保健推進員さんか、直接保健センターにお返しください。

平成11年度健康診査

種類	対象
結核検診	16歳以上
肺がん検診	40歳以上
循環器検診	35歳以上
胃がん検診	35歳以上
大腸検診	40歳以上
婦人検診	30歳以上
人間ドック	40歳、50歳

健診を受けること が健康への第一歩

昨年の各種健康診査では比較的多くの有所見者や、がんなどの発見がありました。

生活習慣病といわれる成人病はほとんどの場合、自覚症状がないまま進行します。健診は病気を早期に見出し、病気をくい止めるために行うもの。恐れず、日ごろの生活習慣を見直すためにも、年1回の健診を受けましょう。そして結果を正しく受け止め、自分の健康状態を確認しましょう。結果によってはさらに進んだ検査を受けてください。自分の体の変化に関心を持つことが大切なのです。

健康診査に関する問合せは、町長寿健康課（保健センター内）☎672-4522までどうぞ。

スクールカウンセラーをご紹介します

昨年9月配置以来、子どもたちや保護者、先生方の相談に応じるスクールカウンセラーのもとに多くの人が相談に訪れています。拠点となっているのは日詰小学校と紫波第一中学校。このほか古館小学校と中学校2校を対象校としています。

担当は佐藤正恵先生（日詰小学校）、林靖子先生、高橋昇先生、橋本まり子先生（以上紫波第一中学校）の4人。どの先生も①児童生徒へのカウンセリング、②カウンセリングなどに関する教職員や保護者に対する助言・援助、③

児童生徒のカウンセリングなどに関する情報収集・提供、④そのほか児童生徒のカウンセリングなどに関し各学校において適当と認められるもの、という4つの項目について積極的な取り組みをしていただいています。

スクールカウンセラーとの相談は予約が原則です。相談希望の人は配置校にお問い合わせください。相談予約の専用電話は次のとおりです。

日詰小学校専用電話 ☎676-6742
紫波第一中学校専用電話 ☎671-1995



スクールカウンセラーのみなさん（写真左から橋本さん、高橋さん、林さん、佐藤さん）

国民年金コーナー

前納・口座振替キャンペーン

国民年金の保険料を前納している人や、口座振替で納付している人へのビッグなプレゼント。次の要件に該当する人は、国民年金施設のペア無料宿泊券が抽選で10人に当たります。ぜひご応募ください。なお当選者の発表は、宿泊券の発送をもってかえさせていただきます。

▶**応募要件** 平成11年4月中に、①1年分の保険料の前納をした人「前納」②口座振替の申込みをした人かすでに口座振替をしている人「口座振替」

▶**施設** 国民年金健康センターもりおか、国民年金保養センターはなまき

▶**応募方法** 官製ハガキに「前納」または「口座振替」、住所、氏名（フリガナ）、生年月日、電話番号、基礎年金番号、希望施設名を記入して、県庁国民年金課企画係に郵送

▶**締め切り** 5月15日（土）当日消印有効

▶**宛先** 〒020-8570（住所不要）岩手県国民年金課企画係

保険料の免除制度

国民年金には、世帯に所得がないときや災害にあったときなど、どうしても保険料を納めるのが困難な場合、保険料が免除される制度があります。免除を受けるには、世帯の所得状況や、納められない理由を申請して承認を受ける必要があります。

免除された期間は、年金額を計算する際、3分の1に減額されます。しかし10年以内であれば、さかのぼって納めることができる追納制度があります。

免除申請は、年度毎に申請が必要です。その際には、納付書と印鑑を持参して、年金係までおいでください。

問合せ 町民課年金係 ☎内線146、147 有線01-8901

まちの話題から

まちで見つけた出来事を写真とともにご紹介します



①物産紹介コーナーには町内の特産品がずらりと並んでいます ②③④レストランの人気メニューは紫波牛を石で焼いて食べる石焼定食。また泡立ちコーヒーもおすすめ ⑤和風の落ち着いた外観

「フルーツパーク」の中核施設・交流館誕生

町内の特産である果樹の付加価値を高めるため策定された「フルーツパーク構想」の中核施設「紫波フルーツパーク交流館」が三月九日に開館しました。

同館は総事業費一億六千八百万円、延べ床面積は四三三・九八平方メートルで、町の景観によく似合う落ち着いた木造平屋建て。道の駅紫波、産直センターあかさわに隣接しています。館内にレストラン果里ん亭、物産紹介コーナー、地域案内コーナー、体験交流室で構成され、目的に合わせて自由に利用できるようになっていきます。

果里ん亭では、紫波牛、紫波黒豚を使った食事のほか、ティータイムにも利用できます。売店コーナーには産直センターにはない加工品や工芸品がずらり。町内の行事や見どころを紹介してくれるのは地域案内センター。パンフレットやイベントのチラシも手に入ります。営業時間は九時から二十一時（レストランは十一時から二十一時）。

節目を迎え心新たに町消防団に辞令交付

町消防団（藤原恒久団長、五百三十四人）の辞令交付式が四月一日、中央公民館で開



かれ、班長以上の団員百七十一人に辞令が手渡されました。藤原町長が藤原団長に辞令を交付。藤原団長は、「三万三千町民の生命、身体、財産を守るため努力する」と決意表明し、消防団本部や各分団の幹部役員に辞令を交付しました。

幹部役員の任期は、平成十五年三月までの四年。本部の主な役員と各分団長は次のとおりです。（敬称略）
 団長 藤原恒久 副団長 藤井秀男、大沼秀一 副本部長 阿部悦尚、畠山孝也、高橋満
 ラッパ長 滝浦重美
 分団長 第1分団 女鹿隆一
 第2分団 阿部征一郎 第3分団 坂本好司 第4分団 小田中泰治 第5分団 細川茂 第6分団 熊谷正志 第7分団 佐々木万吉 第8分団 高橋米勝 第9分団 板沢博夫 第10

分甲高橋正敏 第11分甲内村
壽夫 第12分甲佐々木壯一

元民生児童委員に 厚生大臣特別表彰

二十七年の長きにわたって民生児童委員として活躍し、昨年十一月に辞職した鈴木光子さん（日語）と菊池容子さん（二日町）がこのほど、厚生大臣特別表彰を受けました。伝達式は三月五日、役場で行われ、藤原町長から表彰状が手渡されました。



大きくなって帰ってきてね 願いのサケの稚魚を放流

町の西部を流れる滝名川に三月二十一日、子どもたちの手によってサケの稚魚約三万匹が放流されました。この放流は、滝名川漁業組合（佐々木嘉一郎組合長）が毎年行っているもので、



今年で七回目を数えます。

今回の放流は、志和稲荷神社付近と上平沢の志和橋下流の二カ所で行われ、地域の子もたちや父母など約五十人が参加。同組合が用意した生後五カ月、体長約五センチほどの稚魚を、持参した小さなバケツなどに移し、「元気に帰ってきてね」との願いを込めて、川に放していました。

輝くメダル は活躍の証

平成十年度児童・生徒顕彰メダル授与式が三月十七日、中央公民館で行われ、芸術やスポーツなどで優秀な成績をあげた二十六人にメダルが贈られました。受賞者は、スポーツや芸術の分野で県規模以上の大会などで三位以上に入賞、あるいは表彰を受けた小中学生。各学校の校

長が内申し、教育委員会で審査され、決められました。式では、高橋教育長が受賞者一人ひとりの首にメダルをかけ「皆さんの活躍は私たちに希望や夢、感動を与えてくれた。今後一層励んで自分の心に自信と激励をしていただきたい」と榮譽をたたえました。

受賞者の皆さん（敬称略）

- 三上貴彦（古館小六年） 藤澤唯（同四年） 斎藤聖子（同五年） 牧野佳奈（赤石小五年） 高橋育美（同三年） 高橋梓（片寄小二年） 中村夏実（赤沢小六年） 木戸稲穂（同二年） 加藤僚（紫波一中二年） 佐藤雄（同三年） 三浦哲也（同三年） 米澤彰吾（同三年） 澤口かえで（同一年） 澤口慶太（同三年） 石田絢子（同三年） 菅原直子（同一年） 滝



- 村朋子（同三年） 小田中千絵（同三年） 滝澤愛美（同三年） 咲山壮平（同一年） 長谷川清勝（同三年） 作山洋一（紫波二中一年） 阿部育恵（同一年） 本間愛実（同一年） 森田浩平（同三年） 中村亜希子（同三年）

溶接技術を伝えるために 阿部正泰さん、ラオスへ



青年海外協力隊の平成十年度第三次隊員として、町出身の阿部正泰さん（日語一十五歳）がラオスに派遣され、現地で二年間溶接技術を教えることになりました。

埼玉県の小岩井乳業（株）東京工場で溶接の仕事に就いていた阿部さんは、隊員の募集広告を見て「若いうちにやれることをやっておきたい」と決意し応募。公用語のラオ語を中心に、

約二カ月間研修を積みました。三月二十九日には、藤原町長を表敬訪問。阿部さんが出発のあいさつを述べると、町長は健康に気をつけて元気で帰ってきてくださいと激励しました。「当面は言葉を覚えることが課題。とにかくいろいろなことをやってみよう」と語っていました。阿部さんは四月七日、現地に向けて出発しました。

美しい環境づくり担う 「かたくりの里」完成

快適で美しい農村環境づくりを目指して、工事を進めてきた彦部・大巻地区の廃水処理施設「かたくりの里」が完成し、三月十日に通水式が行われました。

この施設の完成により、二百二十八戸、人口千九百人を抱える彦部・大巻地区の汚水が処理されることになりました。

式ではテープカットの後、藤原町長が通水ボタンを押すと、会場に集まった関係者から大きな拍手が起っていました。





俳句【吉田一路・選】

秀逸 菩提寺の銀杏芽吹きや空の青
(上平沢) 齋藤 静子

評 春が訪れ、草木の芽が吹き始める。この句はよく晴れ渡った空に伸びる寺の境内の銀杏大樹を詠んだのがよい。

佳作 木の芽晴合格告ぐる電話あり
(犬吠森) 小野寺礼子

佳作 芽木の香や遙か御嶽薄曇り
(南伝法寺) 熊谷やえの

入選 倒木も芽吹くや生命いとほしむ
(平 沢) 藤尾 艶子

入選 合格を祝ひ木の芽の結びひて
(犬吠森) 加藤 アイ

入選 木の芽吹き少年ベタル強く踏み
(東長岡) 稲垣 恵香

入選 よろず屋の角を曲りて木の芽寺
(南伝法寺) 兼平よしえ

入選 木の芽ふきランドセル光り白く
(片寄小四年) 畠山 知代

入選 芽吹山離れてしきり花粉舞う
(土 館) 畠山 敦子

入選 早起きのひとり散歩や木の芽道
(犬 淵) 佐藤 昭吉

入選 日のさして木の芽の眠り覚まし
けり (中 島) 山崎 将美

短歌【菅原照子・選】

特選 競りにかかる仔牛の値示されし
電光板に視線がそそぐ

評 競りにかけられた仔牛の値段が電光板に表示されると、集まっている人達の

眼が一斉に注ぐ市場の様子を歌った一首
秀逸 この冬に別れを告ぐる如くにも
くくと鳴きゆく白鳥送る
(中 島) 山崎 将美

評 三月半ばかり下旬にかけて白鳥の帰つてゆく光景にしばしば会う。作者は、白鳥を送りながら逆く冬の感慨があつての一首

佳作 菜の花をゆでる匂ひしてくる
と老夫の声はつみて聞こゆ
(土 館) 畠山 敦子

佳作 昨夜の雷音が語れど眼薬にたよ
りし我は知らずにあたり
(佐比内) 高橋 順子

佳作 親戚に病気に臥しぬる人あれば
話鳴るたびこころの騒ぐ
(稲 藤) 細田まこと

川柳【熊谷岳朗・選】

特選 着地点ふわりだからジャンプ
する (上平沢) 生内アイ子

評 心の動きが見える。

秀逸 自分に負けてはならぬジャンプ
台 (日 詰) 葛岡ヒデ子

秀逸 エッジャンプお望みですかカメ
さんも (日 詰) 畠山 重子

秀逸 ジャンプしても痒いとこころに届
かない(南伝法寺) 細川 清一

佳作 春耕ハバネとなる足鍛えおく
(片 寄) 畠山 勇子

佳作 春つららジャンプの魚は狙われ
る (日 詰) 内川 茂子

佳作 ジャンプしてあの娘にそっとキ
スをして(犬 淵) 佐藤 昭吉

佳作 ジャンプの機伺っている蟻であ
る (日 詰) 森田 嗣子

佳作 夢の中イルカになってジャンプ
した (土 館) 畠山 敦子

佳作 ジャンプして不況の風に泣くパ
ンク (稲 藤) 細田まこと

佳作 ジャンプした頃の若さに戻りた
い (南伝法寺) 高橋 スミ

題 五月 風 六月 足す

あなたの作品をお寄せ下さい。毎月20日までに八ガキで役場広報まで。

慶弔コーナー

平成十一年三月一日から三十一日までの受け付け分から、町に住所のある人を届け出の順に掲載しています。

お誕生
おめでとぅ

ご結婚
おめでとぅ

氏名	(住所)	届出人	氏名	(住所)	父母
藤尾 理菜	(片寄)	正宏	佐々木和成	(北日詰)	與一
横沢 ひびき	(栃内)	勤	菊池サオリ	(東和町)	一男
片桐 佳永	(北日詰)	雅仁	細川 哲也	(日詰)	功
東山 美穂	(二日町)	恵生	赤坂 幸江	(青森県)	安美
田村 美穂	(紫野)	信男	鈴木 裕治	(花巻市)	孝四郎
高橋 稀沙羅	(高水寺)	伸成	花籠ひとみ	(彦部)	勝久
千葉 大誠	(中島)	睦史	引木 英美	(二日町)	義雄
山本 晴登	(日詰)	達也	富山美栄子	(東和町)	吉夫
加藤 祐美	(高水寺)	泰樹	新里 祐之	(稲藤)	哲之
高橋 拓海	(日詰)	克行	石橋 明美	(大迫町)	康市
藤井 寧々	(佐比内)	博	池田 芳弘	(盛岡市)	利喜男
田面山 桜	(佐比内)	道	上屋敷 薫	(中島)	茂
細田 明	(稲藤)	永			
坂本 篤彦	(北日詰)	宅也			
吉田 梨亜	(赤沢)	順			
高橋 遥平	(北日詰)	精			
松田 響	(犬淵)	貴栄			
野村 裕美	(大巻)	裕一			
森田 万智	(東長岡)	英二			
平野 桃果	(桜町)	健彦			
中島彩理沙	(二日町)	一彦			

おくやみ
申上げます

氏名 年齢(住所) 届出人

人口の動き

平成11年3月31日現在(前月比)

人口	33,130人 (+72人)
男	15,921人 (+2人)
女	17,209人 (+70人)
世帯	9,187世帯 (+40世帯)
1年前は(今年との差:増分)	
人口	32,646人 (484人)
男	15,712人 (209人)
女	16,934人 (275人)
世帯	8,915世帯 (272世帯)

阿部 克博	49 (北日詰)	由利子
浅沼 清見	76 (小屋敷)	久夫
阿部 ソノ	77 (桜町)	義美
高橋ハルノ	82 (高水寺)	倉吉
日下トクエ	89 (犬吠森)	マサ子
小田中 淳	68 (上平沢)	保信
佐々木榮治	74 (平沢)	俊彦
佐藤 義美	38 (日詰)	民治
松岡クク子	85 (片寄)	實
半田 ミヤ	84 (山屋)	勝雄
星川 和博	45 (二日町)	直四郎
足澤三之介	94 (桜町)	輝夫
古澤フミヨ	68 (遠山)	和久
加藤 榮	72 (高水寺)	恵栄
工藤 哲	81 (紫野)	泰三
富山 英詔	81 (北日詰)	茂貴
荒木田勝男	69 (北日詰)	光子
近藤善次郎	87 (上平沢)	光宏
佐藤 昇	81 (大巻)	斎
富山岩太郎	89 (赤沢)	勝義
本間幸次郎	73 (日詰)	正幸

犬も歩けばごみに当たる

「愛犬・モモ子との散歩から生まれた「ごみのポイ捨て禁止」

「ゴールデンレトリバー」と、紫波町ごみポイ捨て禁止条例。一見すると何の関係もなさそうですが、実はふたつには深い関わりがありました。三月二十二日に開かれた「ごみ問題を考える集い」ごみポイ捨て禁止条例施行元年にあたって「では、その経緯と条例誕生秘話が蟠龍寺住職、中野英明さん（ばんりゅうじ）の講演で披露されました。

若手県警に勤務されていた中野さんが蟠龍寺住職となつてから、毎日欠かさぬ日課が近くの土手の散歩。遠くに若手山近くには城山が見える好環境であり、気持ちのよいコースだったそうです。しかし、この道沿いには心ない人たちが捨てたごみも多く、せつかくの景色もだいいし。

この道をきれいにしようと思いつたのは、早池峰山登山で出会った一人の青年がきっかけ。その青年は「山が好きだから山への恩返しのため」だけに登山をしてごみを拾い、自らのリュックに入れていました。中野さんも好きな散歩道をきれいにしよう和家人総出でこの道の清掃を行ったそうです。

その後、ごみのポイ捨てに対し、徐々に問題意識を持ち始めた平成五年夏、自宅にやってきたのがゴールデンレトリバーのモモ子。モモ子も朝の散歩に加わるようになりました。

ある日、日課となった散歩途中のごみ拾いをしようとして誤って川に落ちたと

き、かわりに拾ってくれたのがモモ子。わずか生後六カ月のときでしたが、一人でしていたごみ拾いに、もう一匹の仲間ができました。ごみを見つけるとモモ子



蟠龍寺住職中野さんの興味深い講演



海外の環境の現状を報告する講演も



優良ごみ集積所の表彰は7地区に

ごみポイ捨て監視員の皆さんです

任期：平成11年4月1日～平成13年3月31日
(敬称略)

日 詰	村上 昭三	桜町字下川原	☎672-4008
	似里 健三	日詰字七久保	☎676-3749
古 館	中野 英明	高水寺字向畑	☎676-2366
	細川 正雄	中島字前郷	☎672-3619
水 分	松崎 恵子	小屋敷字京田	☎673-6299
	須川 弘朗	下松本字曾利目	☎673-7514
上平沢	工藤 陶三郎	稲藤字升形	☎673-7118
	吉田 昭雄	上平沢字馬場	☎673-6154
片 寄	藤尾 孝太郎	土館字沖田	☎673-7147
	岡本 実	片寄字鶉森	☎673-7242
赤 石	高橋 満征	平沢字境田	☎676-3175
	佐藤 皚	南日詰字蔭沼	☎672-3855
彦 部	佐藤 嘉吉	彦部字久保	☎672-3021
	塚田 孝子	犬吠森字境	☎676-4137
佐比内	中田 公司	佐比内字芳沢	☎674-2055
	菅原 利夫	佐比内字田屋	☎674-2170
赤 沢	石亀 孝文	遠山字上小深田	☎672-2398
	藤原 利男	赤沢字牛ヶ馬場	☎672-2793
長 岡	佐々木 壯一	栃内字栃内	☎696-4722
	阿部 裕悦	北田字大地田	☎672-4726

は必ず拾ってくるようになったのです。そのけなげな姿を見た中野さんが「ごみポイ捨て禁止条例」の請願書を提出したのが平成七年八月。愛犬・モモ子の見事なサポートと中野さんの意志が今年結実しました。

環境に対する取り組みなどに関する情報をお寄せください。リサイクルを実践するサークル、またユニークな取り組みを行っている地区や企業など、身近なエコロジー&リサイクルに関する情報をお待ちしています。
紫波ネット「一番身近なリサイクル&エコロジー」係 〒0228 3390 紫波町日詰字西裏23番地1

一番身近なリサイクル&エコロジー



地球温暖化防止のため

手を洗った後にペーパータオルや温風乾燥機を使わないように、ハンカチを持ち歩きましょう。



二十一世紀のための 新・紫波風土記

滝名川渓流で 子どもにかえる

志和稲荷神社を右手に眺めながら、緩い坂道の途中から滝名川の河原に降りた。そこには時代を感じるつり橋がかかっている。川を渡れるようになっていた。かつてはどこにでもあった懐かしい風景だ。不安定な橋を簡単に渡りきるのが当たり前だった子どもころを思いだし歩を進める。けれど体重はかつての倍以上、運動神経は二分の一におとろえている体は、容易に橋を渡らせてはくれない。こわごわ渡りきると四月最初だというのに残雪があちこちに見えた。もう少し暖かくなり、水も温むようになつたら、大事な人を連れて、もう一度来よう。もちろんその時には、子どもと同様、大きなおにぎりの弁当を持って。



編集後記

今回の人事異動で、広報担当を卒業することになりました。二年間の短い間でしたが、取材などを通して、私自身いろんな勉強をさせていただきました。皆様のご支援とご協力に深く感謝します。
(佐藤)

長い間、皆さんに親しまれてきた「広報しわ」も二十一世紀に向けて人と地域のネットワークに視点を向けた「紫波ネット」へと一足早く衣替えます。情報の質の向上とともに、役場からのお知らせを広報誌に一本化する事で、紙の使用量を減らしていくと、一〇〇パーセントリサイクル紙への切り替えによる資源循環型社会への対応とか、新たな試みも始まりました。

また四月から、女性記者が誕生。地域からの情報に敏感で、女性の立場に立つた誌面づくりをモットーに、これから皆さんのところにお邪魔します。温かいご声援をお願いします。
(小田島)